



羽村市立栄小学校  
学校だよりNO.12  
令和7年1月31日

## 気付く力

副校長 山田 美佳

栄小学校では、朝登校すると元気に挨拶をして校舎に入って来る児童が多く見られます。廊下ですれ違ったり、活動の最中であったりしても見かけると、にっこり笑って挨拶をしてくれ、私は温かい気持ちになります。

先日、あるスポーツチームのコーチとお話をする機会があり、なるほどと思ったことを紹介したいと思います。

そのコーチは、これまで長くコーチの仕事をされて来て、あることに気が付いたのだと言います。

それは、「強いチームは必ず〇〇ができる！」のだそうです。

そう、「挨拶」です。

ただし、ただ挨拶ができるだけではだめです。

「自分からできること」がとても大事である、とのことでした。

では、なぜ自分から挨拶ができる強いチームになることができるのでしょうか。

自分から挨拶ができる人というのは、「気付く力がある人」だからだそうです。

例えば、朝登校して、あっ、玄関に先生が立っているな、声を掛けよう、と気付き「おはようございます。」と、行動を起こすわけです。

同じように、この「気付く力がある人」というのは、プレーをしていて、相手に隙ができていいるな。今がチャンスだ！と次の行動を起こすことができるということになります。

挨拶を自分からすると、「気付く力」を身に付けることにつながる、ということです。

それは、どんなスポーツにも、勉強にも、友達との関わりにも、どんな仕事をする上でも役に立つ力だと思えます。

今まで以上に挨拶を大切に、自分からの

挨拶を心掛け、気付く力を高め、相手を思いやりながら気持ちよく過ごしてほしいです。

25日(土)は、学校公開が行われ、多くの保護者の方々に来校していただきました。子供たちの嬉しそうな、恥ずかしそうな顔が、微笑ましく感じました。



1月21日(火)から25日(土)までは、校内書写展が行われていました。

2学期末から冬休みと練習を重ねてきた成果が表れ、どの子の作品も丁寧にのびのびと書かれているな、と感じています。

各学年の代表児童1名の作品を職員室前に掲示していますので、ご来校の際はご覧ください。

また、2月14日(金)～2月19日(水)まで、東京都公立学校美術展覧会が、上野の東京都美術館で行われます。

例年、図画工作科の部門へ代表の児童の作品を出品していますが、今年度は、新たに書写部門にも出品することになり、毛筆2名、硬筆2名の代表児童の作品を出品します。

今年度も残り30日余りとなります。1年のまとめをしっかり行い、新しい学年を迎えられるようにしていきます。

◆ ホームページがリニューアルします。 ◆

羽村市小・中学校のホームページが、2月1日(土)より、リニューアルいたします。現在のホームページに新ホームページのリンクをはりますので、そちらからもご覧ください。



新HP2 次元コード